

高梁川

TAKAHASHIGAWA

志塾

＜第3期＞

SDGs探求コース／企業コース



高梁川志塾とは？

高梁川の自然や歴史、文化、および産業を「フィールドワーク」の教材に、多様な世代が所属や立場を超えて互いに学び、研鑽しあい、高梁川流域での地域づくりや、「持続可能」な地域を担う次世代の人材として成長し、行動につなげることを目指す塾です。

SDGs探求コースについて

探究学習とは、受講生自らが課題・テーマを設定し、解決のために情報を収集・整理・分析したり、周囲の人と意見交換・協働したりしながら進めていく学習活動のことです。このコースでは、座学に加えて、実習やプレゼンテーション作成などのアウトプットを前提として、プログラムに参加します。
(探求コース以外に、座学だけに参加する「聴講生コース」もあります。)

講師(例)

神崎 宣武 氏

(民俗学者・高梁川流域学校 校長)



大原 あかね 氏 (公益財団法人大原美術館 理事長)

大久保 憲作 氏 (倉敷木材株式会社 代表取締役会長)

その他、地域おこし協力隊OBで起業して活躍中の皆さんや、高梁川流域学校の役員メンバーなど事業の実践者、あるいはスキル・ノウハウの専門家、高梁川志塾OB/OGなど、多数の講師を予定しています。

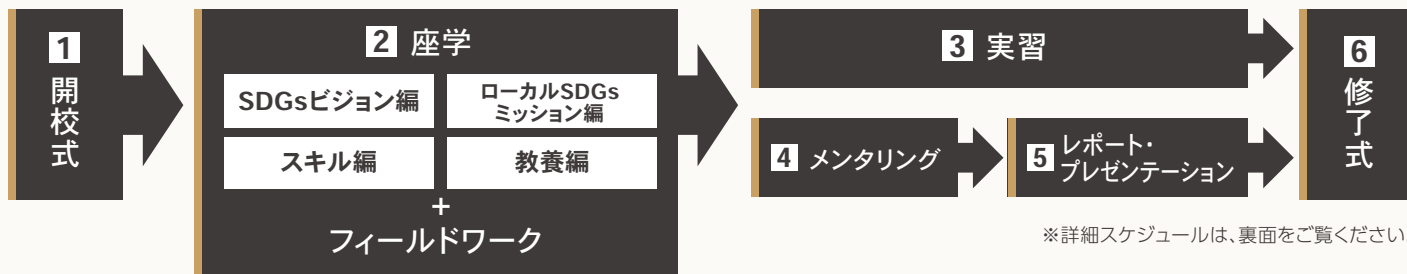
参加者の声



岩崎 真子 さん

倉敷市地域おこし協力隊員
倉敷薄荷陳列所 所長

高梁川志塾では様々な分野の話を聞くことが出来たので、自分の視野を広げる機会となりました。プログラム終了後も受講生の方と繋がりが良い刺激を受けています。三期生の皆さまとも今後関わっていただけたらと思います！



※詳細スケジュールは、裏面をご覧ください。

会場 倉敷市内ほか、高梁川流域全域 (講座ごとに異なる場合があります。)
(会場とオンライン受講を並用して実施)

定員 25名

運営 一般社団法人高梁川流域学校

主催 倉敷市 (本事業は「高梁川流域連携中枢都市圏事業」の一環として開催いたします)



事業については
右記QRコードにて



こんな人にオススメ

- ✓ 地域の課題解決に取り組んでみたい人。
- ✓ プロジェクトやイベントの企画・運営のノウハウを学びたい人。
- ✓ SDGsを経営に取り入れたい企業の経営者、担当者。
- ✓ NPOや地域活動に参加している次世代人材。
- ✓ SDGsをより深く知りたい、行政関係者・教育関係者など。

座学(講座)の種類

<SDGsビジョン編>

高梁川流域の2030年のビジョンと、そこに向けた課題解決のための現状の取り組みを、実践者や専門家のレクチャーでそれぞれが深く理解し、アクションへの気づきを得ることができる講座。

<ローカルSDGsミッション編>

SDGsの17のゴールを高梁川流域版にローカライズして目標設定するワークショップ。

<教養編>

高梁川流域における、歴史・文化・産業などに関する教養や、活動の前提となる知識を得るための講座。

【例】『備中志塾』シリーズ(高梁川流域学校 校長 神崎宣武氏)ほか。

<スキル編>

プレゼンテーション、ロジックモデル・ビジネスモデル、非営利団体の会計、データ分析(RESAS活用)、ITツールの利活用、オンライン会議の開催方法、ブログやSNSの活用など、団体運営やプロジェクト企画、探求学習のためのスキル・ノウハウを習得する講座。

<フィールドワーク>

高梁川流域における持続可能な取り組みの体験プログラム

【例】美観地区・総社市での視察・ワークショップ ほか。

プログラム

①開校式・オリエンテーション(必修)【2021年11月7日(日)10:00~15:10】

②座学(選択)【2021年11月7日(日)~2022年2月20日(日)※日程調整中】

高梁川流域の第一線で活躍する豪華講師陣による講座をご用意しています。

※期間中、2時間(前半講義・後半ワーク)×最大30コマ程度(SDGs探求コースは主に平日夜もしくは土日で開催/企業コースは主に平日昼での開催)

※1コマは、2時間10分を基本的な組み立てとしています。内訳は、1時間のレクチャー、10分の休憩、1時間の質疑応答(もしくはワークショップ)の予定です。

※SDGs探求コース/企業コースにどちらにもご参加いただいても、全コースのプログラムを受講可能です。

※第1期・第2期のアーカイブ動画も視聴可能です。

③実習【2021年11月7日(日)~2022年2月20日(日)※日程調整中】

運営側で指定する団体の活動に参加する、又は自身のプランに即した実習/実践を行い、期間中20時間程度の現地実習を行います。

④メンタリング【2021年11月7日(日)~2022年2月20日(日)※日程調整中】

実習の前、中、後で、メンターとの面談を行い、ご自身のプランのブラッシュアップや、最終発表に向けた相談などを行います。

⑤レポート・プレゼンテーション(必修)

【2021年11月7日(日)~2022年2月20日(日)※日程調整中】

自らのテーマ・関心に合わせて、レポートもしくはプレゼンテーション資料の作成を行います。

⑥修了式(必修)【2022年2月20日(日)終日】

それぞれの活動及びレポートもしくはプランについての発表を行います。

SDGs探求コース

土日		平日	
1限	10:00~12:10		
2限	13:00~15:10		
3限	15:30~17:40		
4限	18:00~20:10	4限	18:00~20:10

企業コース

平日	
1限	10:00~12:10
2限	13:00~15:10
3限	15:30~17:40

受講形態

各講座の開催会場で直接受講、もしくはオンライン(Zoom等)での受講を選択。

※SDGs探求コース受講生は、専用の「Googleクラスルーム」へご招待となる予定です。事前にGoogleアカウントの作成をお願い致します。

※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、オンラインのみ開催となる場合がございます。

参加費

①SDGs探求コース・企業コース受講生

一般12,000円(税込) / 学生 8,000円(税込)

(全プログラムへの当日参加、アーカイブ視聴が可能)

※会場受講・オンライン受講に関わらず一律料金

※フィールドワークは、内容により別途実費での参加費がかかる場合がございます。

※一部、アーカイブ受講不可の講座もございます。

②聴講生(座学のみ参加)

会場受講:1,500円/回(人数制限あり) オンライン・アーカイブ受講:500円/回

※基本的に座学のみご参加いただけます。

※後日参加者のみ閲覧できるページをご案内予定です。

※講座によっては、別途、実費を徴収する場合がございます。

※講座によっては、無料公開の場合がございます。

決済方法(事前)

①クレジットカード(全コース共通)

※お申込みをいただいた方に決済用のページをご案内

②銀行振込(SDGs探求コース・企業コース生のみ)

中国銀行 倉敷駅前支店 普通 2546091

一般社団法人高梁川流域学校 代表理事 坂ノ上博史

(シヤ)タカハシガワリュウエイキガッコウ ダイヒョウリジ サカノウエヒロシ

※企業コースで請求書が必要な方はお申し付けください。

お申し込み方法 ※第一次締切:10月31日(日)以降定員に達するまで、随時募集

お申し込みはこちら(各コース共通)

1 メール: seminar@takahashigawa.or.jp

- ご所属 ●ご氏名(ふりがな) ※複数場合は全員分 ●電話番号 ●ご住所
 - ご希望のコース(企業コース/SDGs探求コース)
 - 決済方法(クレジットカード/銀行振込) ●この講座を知ったきっかけ
 - 紹介者の氏名(紹介者がいる場合のみ) ●受講方法(会場/オンライン)
 - ご参加への想い
- をご記載の上、上記メールアドレスまでお送りください。

2 Googleフォーム

<https://forms.gle/shELR8rywFfy6PwX6>

聴講生として受講をご希望の方は、事業HP等にて各講座のお知らせをいたしますので、そちらからお申し込みください。



本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人 高梁川流域学校 事務局(担当:山本・梶谷)

【電話】086-527-6248(分福代表) 【FAX】086-691-2289 【メール】seminar@takahashigawa.or.jp

【住所】岡山県倉敷市中央2丁目13-3 住吉町の家 分福